

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月14日 (2016.1.14)

【公表番号】特表2015-507495(P2015-507495A)

【公表日】平成27年3月12日 (2015.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-016

【出願番号】特願2014-549128(P2014-549128)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 L 15/58 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/02 3 5 5

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 9/70 4 0 1

A 6 1 L 15/06

A 6 1 F 13/02 3 1 0 J

A 6 1 F 13/02 3 8 0

A 6 1 F 13/02 3 9 0

A 6 1 P 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月16日 (2015.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パッチであって、

第 1 の主表面と、前記第 1 の主表面と反対側の第 2 の主表面とを有する裏材と、

前記裏材の第 2 の主表面に結合される肌接触接着剤と、を有する、パッチと、

剥離ライナであって、第 1 の主表面と、前記第 1 の主表面と反対側の第 2 の主表面と、
ヒンジによって分離される第 1 の部分及び第 2 の部分とを備え、少なくとも前記第 1 の主
表面は、前記パッチの肌接触接着剤に対する剥離特性を示すように構成され、前記第 1 の
部分は、前記剥離ライナが前記ヒンジに折り置まれるときに、前記パッチの裏材の第 1 の
主表面に重なるように配置され、前記第 2 の部分は、前記裏材の第 2 の主表面と前記パッ
チの肌接触接着剤の少なくとも一方の下に位置するように、配置される、剥離ライナと、
を備える、粘着パッチ組立体であって、

前記剥離ライナの第 1 の主表面は、前記パッチが前記剥離ライナの第 1 の部分と第 2 の
部分との間に位置するときに、前記パッチに対向するように配置され、前記剥離ライナの
第 1 の主表面の剥離特性が、前記剥離ライナの第 1 の主表面と同一の広がりをもつ、粘着
パッチ組立体。

【請求項 2】

粘着パッチ組立体を作製する方法であって、前記方法が

裏材と、前記裏材に結合する肌接触接着剤とを含むパッチを提供する工程と、

第 1 の主表面と、前記第 1 の主表面の反対側の第 2 の主表面とを含み、第 1 の部分と第 2 の部分とを有する剥離ライナであって、少なくとも前記第 1 の主表面は、前記パッチの肌接触接着剤に対する剥離特性を示すように構成され、前記第 1 の部分と前記第 2 の部分の各々が、前記パッチを収容するように寸法決めされており、前記剥離ライナの第 1 の主表面の剥離特性が、前記剥離ライナの第 1 の主表面と同一の広がりをもつ、剥離ライナを提供する工程と、

前記パッチが前記剥離ライナの第 2 の部分の上に位置し、前記剥離ライナの第 1 の部分には前記パッチが存在しないように、前記パッチを前記剥離ライナに配置する工程と、

前記第 1 の部分と前記第 2 の部分との間に位置するヒンジの周りで前記剥離ライナを折り畳んで、前記パッチが前記剥離ライナの第 1 の部分と第 2 の部分との間に位置するようにし、粘着パッチ組立体を形成する工程と、を含む、方法。